

## 令和7年度「地域文化功労者表彰」受賞者

被受賞者 (年齢／所在地・住所)	表彰理由	主要経歴
やぶた ゆたか 薮田 貫 (77歳／大阪府三島郡島本町)	<p>○平成13年2月から平成23年2月まで文化庁文化審議会文化財分科会専門委員として、明石藩舞子台場跡（神戸市）や利神城跡（佐用町）、八上城跡（丹波篠山市）などにおける国指定文化財の審査に関わるなど、文化財の保存活用に貢献してきた。</p> <p>○平成26年4月からは県立歴史博物館長として、ひょうご歴史研究室を通じて、郷土史の理解を深め、歴史文化遺産の着実な継承と兵庫の未来のかけはしとなる博物館づくりに尽力した。</p>	<p><b>【略歴】</b></p> <p>昭和57年 新修神戸市史編集委員会委員 平成2年 関西大学文学部教授 平成13年 文化庁文化審議会委員（第3専門調査会：史跡委員会） 平成24年 関西大学博物館長 平成26年 兵庫県立歴史博物館長 平成27年 関西大学名誉教授 令和7年 兵庫県立歴史博物館名誉館長</p> <p><b>【賞歴】</b></p> <p>令和7年 兵庫県功労者表彰</p>
あまの ふみお 天野 富美男 (72歳／高砂市)	<p>○高砂市に生まれ、神戸大学在学中に光風会、日展に初入選して以来、30回以上日展に入選している。卒業後も美術教師として生徒を指導するとともに、市内の美術教師の自己研鑽の場として「高砂市教育美術展」を企画運営し、地域において絵画の振興に貢献してきた。</p> <p>○平成17年に日展会員、日洋会常任委員へ就任した。日洋会関西支部事務局長を務めるとともに、ラ・イン会の代表として「公募ラ・イン展」を開催し、未完成であっても骨太い具象絵画の創造を目標に活動するなど、絵画の振興に貢献している。</p>	<p><b>【略歴】</b></p> <p>平成17年 日展会員・日洋会常任理事 平成19年 ラ・イン会代表 平成23年 高砂市美術協会 会長 平成29年 日展特別会員</p> <p><b>【賞歴】</b></p> <p>平成6年 高砂市文化奨励賞 平成20年 兵庫県文化賞</p>

おさきしまいほぞんかい  
尾崎獅子舞保存会  
(赤穂市)

○平成 17 年に兵庫県指定無形民俗文化財に指定されている赤穂八幡宮獅子舞は、室町時代が創祀とされる。江戸後期から今日の形となったと考えられ、伝統をより確かな姿で継承する取り組みが進められてきた。

○同保存会は、市の無形民俗文化財に指定されるのを契機に結成され、長きにわたり赤穂八幡宮獅子舞の伝統を守り、日本遺産『「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂』の構成文化財になるなど、地域文化の発信に貢献してきた。

【略歴】

平成 8 年 尾崎獅子舞保存会設立

【文化財の指定年月日】

平成 8 年 3 月 29 日

赤穂市無形民俗文化財指定

平成 17 年 3 月 18 日

兵庫県指定無形民俗文化財指定

【賞歴】

平成 28 年 赤穂市長表彰

「赤穂市文化振興者賞」

令和 6 年 兵庫県知事表彰

「ともしびの賞」

※年齢は令和 7 年 11 月 3 日（表彰期日）時点を記載